

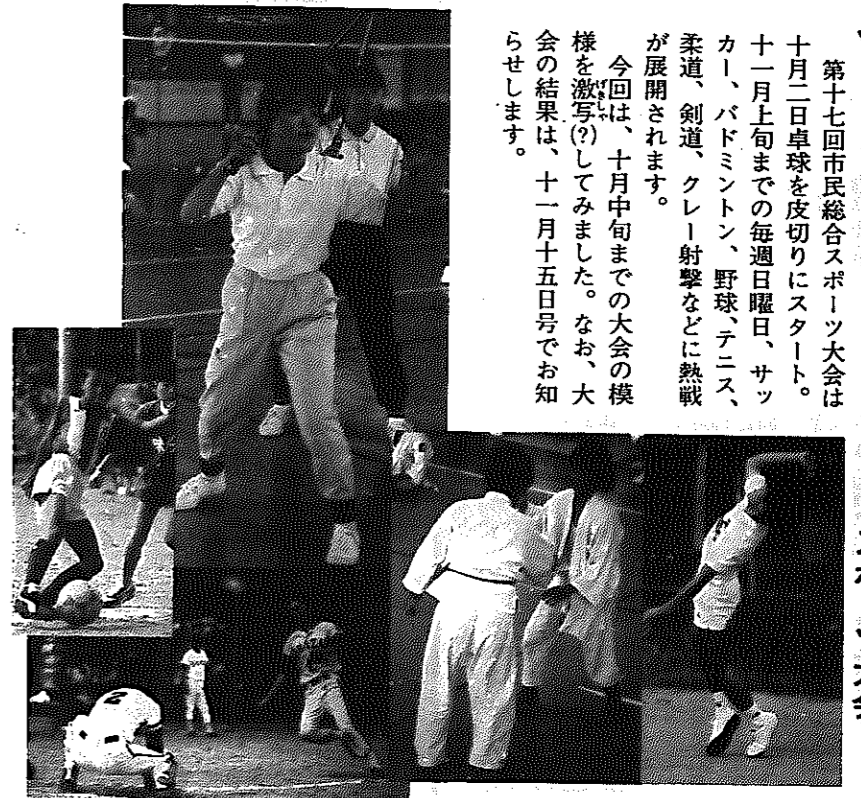
話 題

ま ち の

スポーツの秋、熱戦展開中 市民総合スポーツ大会

第十七回市民総合スポーツ大会は十月二日卓球を皮切りにスタート。十一月月上旬までの毎週日曜日、サッカー、バドミントン、野球、テニス、柔道、剣道、クレー射撃などに熱戦が展開されます。

今回は、十月中旬までの大会の様相を激写(?)してみました。なお、大会の結果は、十一月十五日号でお知らせします。



県バド大会で優勝 白根小バドミントンクラブ

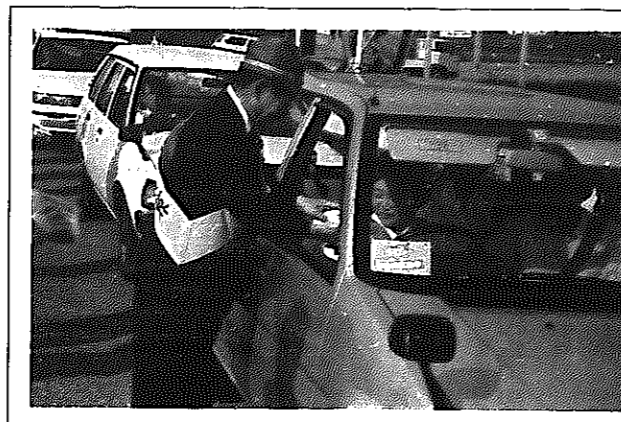
白根小バドミントンクラブ「白根エンゼルスA」が、九月十五日新発田市で行われた第三回県小学生バドミントン大会で優勝しました。大会は三十四チームが参加、白根エンゼルスAは優勝までの五試合をみごとに勝ち抜きました。



しゅかり運転米ペース 交通安全指導で新米を配布

十月五日、国道8号上塩俣地内で、交通安全協会、交通安全母の会、市など関係者約四十人が交通安全の呼びかけを行いました。この日は、米消費拡大運動を兼ねて、地元産コシヒカリ新米三百粍詰め五百袋をドライバーにプレゼント。袋の表には「越の路しゅかり運転米ペース」と書かれています。思わぬプレゼントにドライバーはにこにこ顔でした。

また、八日には白根ライオンズクラブの会員約十人が山崎興野地内で交通安全指導。こちらは交通警察官の手記を編集した小冊子百五十部をドライバーに手渡していました。



てんぐの鼻にびっくり 保育園児の人形劇鑑賞会

大郷児童館、大鷲保育園、鷲ノ木保育園では合同で、九月二十一日鷲巻地域生活センターで人形劇鑑賞会を開きました。園児に生の人形劇を楽しんでもらおうと、劇団「宝の島」を招き行ったのです。

開演前はとてもにぎやかだった園児たち百五十人も、照明が消された場内が暗くなるとだんだん静かになっていきます。今回の出し物は「てんぐのうちわ」で、園児たちと人形との掛け合いで劇は進みます。てんぐの鼻がどんどん伸びるところでは、園児たちはびっくり。「ウワァー」という大歓声が上がっていました。



ナシ狩りに大喜び 観光果樹園 観光客を招待

大郷の中村観光果樹園では、九月十六日、村松町の養護老人ホーム「桜花寮」のお年寄り三十三人を招待、ナシ狩りを楽しんでもらいました。

これは同園が開園二十周年を迎えたことと、経営者の中村芳雄さんの親類が同施設にお世話になっていたことへのお礼。

訪れたお年寄りたちは、ナシ狩りは初めてという人がほとんど。早くからこの日を楽しみにしていたという皆さんは、しゅんの味覚に舌鼓を打ち、寮で待つ友達のもと、たくさんのお土産に、バスに乗り込んでいました。

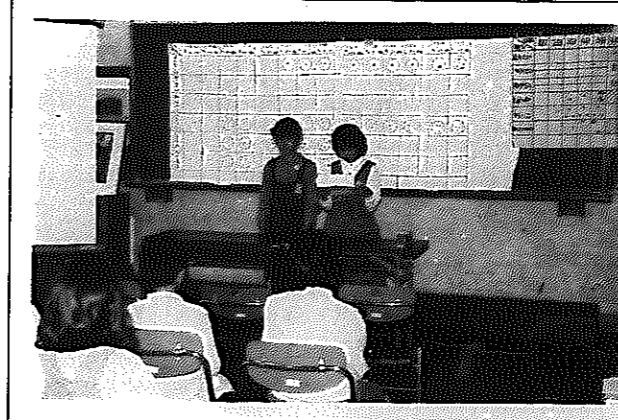


夏休みの成果を発表 科学研究発表会

白根地区児童生徒科学研究発表会が十月六日、市教育委員会で開催され、小学校三年生から中学校三年生までの七十四人が四十二の研究事例を発表しました。

これは、小・中学生が夏休みなどを利用して研究した成果を発表するものです。小学生は植物や昆虫の観察記録など身近な研究事例が多く、中学生は学校での勉強をさらに一歩進めた研究事例となっています。

発表会は学年別に五会場に分かれ、児童生徒は研究の成果を表やグラフを使い、分かりやすく精いっぱい発表していました。

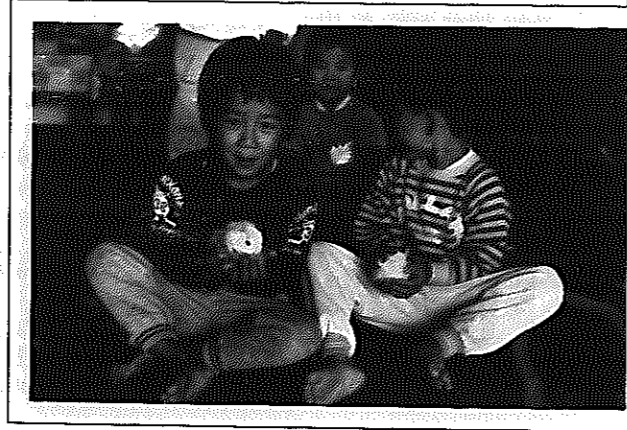


モルモットはアイドル 上八枚保育園で赤ちゃん誕生

市内の多くの保育園で、今モルモットの赤ちゃん誕生のラッシュが続いています。

上八枚保育園では、九月二十八日に三匹の赤ちゃんが生まれ、園児二十八人のアイドルとしてたいへんかわいがられています。

林良子園長は「モルモットを飼うことで、命のたいせつさや赤ちゃん誕生の不思議さ、動物をかわいがる優しさを感じてくれる園児たちは感じてくれているものと思います」と話します。この三匹の赤ちゃん、まだ名前が無いようですが、ぜひいい名前を付けてあげてくださいね。



オランダから美女が来た 市長を表敬訪問

オランダから本市を訪れていた、ヘルベルト・フェランス夫妻が、県合戦協会の役員案内で、九月十七日、市長を表敬訪問しました。

夫妻が本市を訪れたのは、昭和五十七年にオランダで開かれた「親善風揚げ大会」に本市から参加したとき、当時十五歳だった、奥さんのメタ・ファンデンブリンクさんが、凧作りや凧揚げなどを熱心に手伝ってくれたのがきっかけ。

ファンデンブリンクさんは「ぜひ白根市を訪ねたいと思っていました。夢が実現できてこんなうれしいことはありません」と話していました。

